

交通流動シミュレーションのご紹介

交通工学のノウハウの集大成

- 交通渋滞対策の立案に
- 様々な都市計画分野へ
- パブリック・インボルブメントの合意形成ツールとして
- 大店立地法における駐車場設置検討として

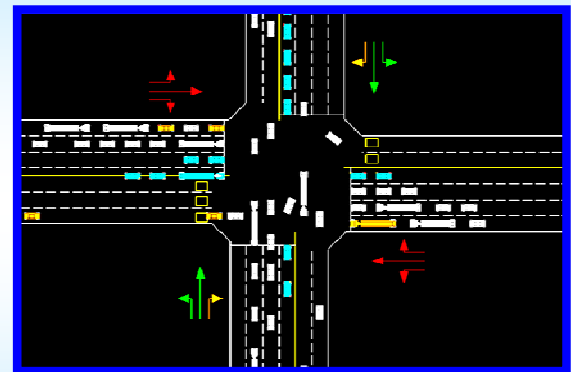
■ 交通流動シミュレーションの特徴

- アニメーションにより交通流動を再現できます。
- 交通処理の問題点、改善効果が視覚的に表現できます。
- 対外説明用資料として効果を発揮します。

■ 交通流動シミュレーションでできること

- 交通渋滞解消シミュレーション
交通渋滞の原因把握、改善策の検討。
- 交差点改良
車線数の検討。
右左折レーン設置による整備効果の検証。
信号現示の最適化検討。
- バス等低速車混入時の影響評価
バス停留所設置による、周辺交通流動の検証。
低速車混入時の交通流動検証。
- 駐車場整備
大規模店舗などの駐車場整備による、周辺道路の交通流動の検証。
- 変動する交通流動に対応
午前、午後など、時間毎に交通量の変動も再現。

交通流動アニメーション画面



■ 入力データ

道路車線構成、方向別交通量（台/時）、大型車混入率、信号現示等を入力します。

■ 評価項目

- ・ 平均旅行速度、平均通過時間、渋滞車列長、通過交通量等の指標による評価
- ・ アニメーションによる視覚的評価（時間変動も再現されます。）

サービスの流れ

交差点
解析

モデル
作成

交通流動
解析

アニメーション
作成

照査

納品

■ お問い合わせは



株式会社 高島テクノロジーセンター

〒108-0075 東京都港区港南2-16-4(品川グランドセントラルタワー7F)

TEL03-5781-7872

Fax03-5781-7869

No.025